

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 16 日

事務事業名		桜川市統計書改定事業					事業区分		担当		
							新規/継続	継続	事務事業No.	060301000306	
							単独/補助	単独	所属課	010201	
政策体系	総合計画の施策名	0603	時代に合った自治体運営							企画課	
	政策名	06	みんなで築く自治のまちづくり							課長名	
	施策名	03	時代に合った自治体運営							グループ	
	手段名	01	①計画的な行政運営							担当者名	
		財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	02	05	01	01	00	統計調査総務事業				
法令根拠							単年度繰返し (平成18年度~)				
							← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	(1) 事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	市役所各課及び関係機関、県ホームページなどから情報を収集し、桜川市における人口・商業・教育・福祉などのデータをまとめ、一つのデータファイルとして編集する。 編集したデータは、桜川市統計書としてホームページにて公開する。		1、統計書に掲載する予定のデータを各課などから収集する。 2、県ホームページより桜川市関連のデータを収集する。 3、収集したデータ類を年度順に並べる、グラフなどに加工するなどして見やすいように編集する。 4、編集したデータ類を一つのPDFファイルとしてまとめ、桜川市ホームページにて公開する。	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
統計書に掲載する予定のデータを収集し、編集したデータ類を一つのPDFファイルとしてまとめ、桜川市HPにて公開する。	聞き取りを行った課と関係機関の数	箇所	30.00	29.00	29.00	29.00	29.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
桜川市における人口・商業・教育・福祉といった様々なデータ	統計書データ項目数	件	112.00	121.00	121.00	121.00	121.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
桜川市に関するデータ類を統計書として一つにまとめる。	統計書データ項目・更新数	件	110.00	101.00	121.00	121.00	121.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投 入 量	事業費内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
	合計		0		合計	0

事務事業名	桜川市統計書改定事業	事務事業No.	60301000306	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 合併を機にデータ類の公開方法を見直し、近隣市町村の状況を踏まえ、市民からの要望により市の様々な情報を公開する必要性が生まれたため。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 桜川市に関する人口など統計データ問い合わせ時にホームページの統計書を確認してもらうようにしている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 統計データの情報公開は市民の利益となる。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市に関する統計情報を分かりやすく伝えるため。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 統計書に去年から更新された統計データは全て追加したため成果は達成されたといえる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桜川市の各種情報や統計データをまとめて公開しているページや資料などは他にないため廃止はできない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似の事業はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 掲載データは各課から無償で提供してもらっているため削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である HPから誰でも統計書を閲覧できるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)														
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	関係機関へ資料の提供依頼時期を早める。														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上維持</td> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上維持	低下	○	X	X
成果		コスト														
		削減	維持	増加												
向上維持	低下	○	X	X												
		(6) 事務事業優先度評価結果														
		成果優先度評価結果	⑧													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>